

# 山田みやこの活動報告

令和5年6月4日(日)

## 青少年の自立を考える研修会

主催 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

場所 とちぎ青少年センター(アミークス)

### 「自立支援ホームの現状とこれから」

講師 武蔵野大学 永野咲さん

#### ①自立援助ホームで過ごした若者たちは今どうしているか？

2017年 新しい社会的養育ビジョン

国「ケアリーバー（社会的養護経験者）の実態把握」検討

都道府県「ケアリーバーの実態把握の自治体の責務化と毎年の公表の実地」行う

2020年度まで

8割の都道府県等では直近5年間で一度も把握されでならず、国による調査もない

2020年度 初の全国調査

児童養護施設等への入所措置や里親委託等が解除された者の実態把握に関する全国調査実施

調査対象者に対して配布人数は35.6%その内回答件数14.4%⇒ケアリーバー調査に反映されない

ケアリーバー調査の「自立援助ホーム」の回答率11.7%⇒住所不明のため把握困難

「自立援助ホーム」退所者の教育機会

最終学歴が中学卒 39.5%

「自立援助ホーム」入所者の就学状況

高校に就学中 41%

大学等に在籍中 8.6%

最後に通った学校の中退 36.1%

「自立援助ホーム」の退去者の家計の苦しさ

支出の方が多い（赤字） 33.2%

借金がある 32.3%

「自立援助ホーム」退去者の健康と受診控え

健康上の課題がある 25.9%

受診出来なかった 36.3%

「自立援助ホーム」退去後の同居者と子育て

交際中の人・配偶者と同居 28.7%

子どもと同居 9.0%

「自立援助ホーム」退所直後の進路

就職・就労 56.9%

進学・通学 13.8%

未定 14.7%

## 「自立援助ホーム」退所前と退所後

	退所前	退所後
生活費や学費のこと	57.3%	43.5%
仕事のこと	46.6%	30.6%
将来のこと	40.9%	37.1%
健康のこと（精神的）	28.4%	25.9%
人間関係のこと	29.3%	23.3%
借金のこと	5.6%	17.2%
家事や食事のこと	23.7%	12.1%

## ②自立支援ホームの運営状況は？

2020年度調査

NPO法人88ホーム 52.1%

職員体制が不十分 52.7%

安定した運営が見通せない 71.7%

就労や就労継続を支援する＋被虐待・障害への特性に配慮した支援が必要

研修やサポート必要

## ③自立支援ホームのこれから

就学支援、年齢で区切らない支援（若者本人主体）

☆特に保護を必要とする場合には...

- ・保護以前には、生き延びるために痛みを感じないように「感情」を麻痺させて生き延びてきた
- ・他者（周囲の大人）の感情を優先させざるを得ないような環境
- ・声を上げても無視されたり、もっと悪いことが起こった

↓

子ども若者の声（をあげようとする気持ち）は奪われてきた。「人生のコントロール権を奪われてきた」

若者たちが「声」を取り戻すには、状況に気づき聴こうとする人がいるか。また、聴く側の資質が問われる。

保護を必要とする子ども若者たちが気持ちを表明することは、そんなに簡単なことではない。

「声を」あげられるには、他者への信頼感や希望「自分が声を出してもいい」と思える気持ちを獲得していかなければならない。

※生き延びるために痛みを感じないように、感情を麻痺させて生き延びてきた子ども若者への生き直しには、周囲の支援側の気づき、聴こうとする人の存在と伴走支援が必要。それにより、他者への信頼感と自己肯定感を得られる。